



YOUNG
ENTREPRENEURS
GROUP

遊ゆう悠ゆう心しん

NO. **22**

INTERVIEW

戸田直前会長・伊狩新会長に訊く！YEGのこれから――

新世紀へ向けて

YEGが変わる。

日本経済の危機が叫ばれる中、地域経済においてもその深刻さは、実感として我々の環境に忍び寄ってきている今、青年経済人団体YEGとして果たす役割は大きい。10周年を迎える商工会議所青年部のビジョンを戸田直前会長と伊狩新会長に訊く。



平成11年度会長 伊狩 泰介



平成9・10年度会長 戸田 善丈

――直前会長2年間お疲れさまでした。大変な勤務であったと思いますが、特に力を注がれた点は何でしょうか。

戸田 ●私自身、相談役までやりながら、会長へのお話をいただいた時には大変悩みました。自社ではトップダウンの経営方針を標榜している私に、合議制で進める117名の会員の運営ができるのか、不安でいっぱいでした。ですが、何事も経験であり、学びである。この機会を感じ、努めさせて頂きました。事業については、歴代会長が作り上げてくれた実績を維持するだけで精一杯でしたが、その事業を通じ、YEGの団結力を高めることに注力致しました。できる限りの時間をYEG活動に注ぎ、会員相互のコミュニケーションを図ってきました。また、他団体との交流も精力的に進め、松山YEGのPR等にも努めてまいりました。

――伊狩新体制に望むことは。

戸田 ●会員間の人間的なつながりは、かなり深まってきたと思います。この交流を経済交流として、より発展的に、グローバルに展開していただきたいと願っています。

新世紀へ向け、YEGが変わる。



います。

—— 具体策としてはどんな取り組みをお考えですか。

伊狩 ● パーチャルコーポレーションYEGとは、会員企業を一つの集合体と仮定して企業間のビジネスチャンスを広げるといふ内部構想と大きな仮想企業YEGとして、よりダイナミックな事業戦略やPRを押し進めていこうという外部に向けての構想があります。具体的には、一、各企業社員の資質・能力向上のため、多くの研修を行う。二、YEG内部で会員企業間の情報共有化によりビジネス拡大を図る。三、地域経済活性化に対する「企画・提言」を行う。を3本柱とし、VCプロジェクトと名付けて活動をスタートしました。YEG自体が一つの企業体であると自覚することが、プロとしての能力や経験を今まで以上に発揮するきっかけになるのではと期待しています。また、YEGが元気であることが、ひいては地域経済全体の活性化につながる。と確信しています。



—— いよいよ10周年を迎えますが、今後のYEGのビジョンについてお聞かせください。

伊狩 ● これを機に、YEGの存在意義を見直すとともに地域経済におけるオピニオンリーダーグループを目指していきたいと考えています。特に、松山では、30代40代の若い経済人が柔軟な発想で交流、活躍できる場が少ないと感じています。YEGは、そういった人々が十分活躍できるビジネスフィールドとしての機能を持たなくてはなりません。現に今年度より、会員の定年年齢を45歳から49歳に引き上げました。その結果現会員は、20歳から49歳まで幅広い年齢層で構成され、会員数も130名まで拡大しています。本年度中に200名体制を目標とし、積極的に事業推進していきたいと思っています。歴代会長に比べ、まだまだ未熟者ですが、会員一人一人に「YEGに入っただけでよかった！」と思ってもらえる団体にしていきたい気持ちは人一倍です。

真の経済交流を目指して、200名体制へ



本気の時代、今、問われる実行力

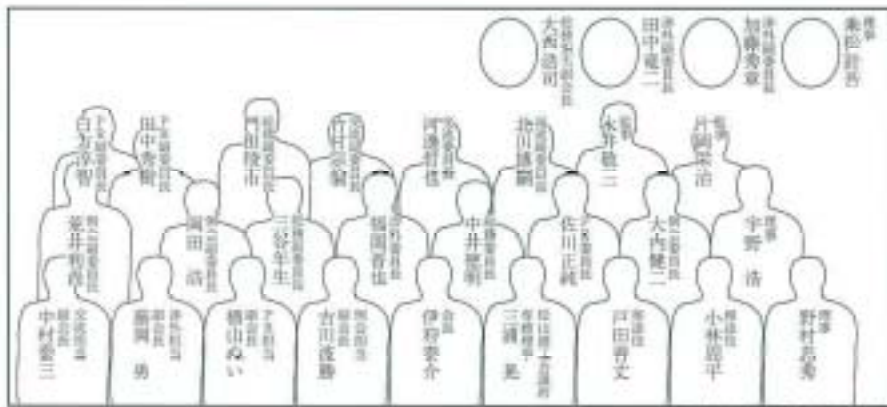
戸田 ● 新会長の方針、計画はまさに21世紀へむけての大きな第一歩になると確信しています。その為にも私たちは、YEGの存在意義を強く認識し、そのための行動を確実に実行していくことが大切です。会員の研鑽が大きなパワーとなり、会員企業の活性化、上部組織松山商工会議所への貢献、地域経済への貢献につながるようチャレンジしていきたいと考えています。早いもので創立10周年を迎えるわけですが、私の好きな言葉「伝説は、ただ永きをもつて尊しとせず」をかみしめ、常にフレッシュな気持ち、姿勢を忘れず創意工夫に努力していきたいものです。また、景気低迷の中にありながらも、我が松山は、しまなみ海道開通等恵まれた環境にあるといえます。勝ち組になるかどうかは、私たち一人一人の戦略、行動にかかっています。今こそ、本気で、みんなで、力をあわせ、明日を勝ち抜こうではありませんか。





平成11年4月16日撮影

新組閣 決定



平成11年4月16日現在

通常総会

平成11年度松山商工会議所青年部通常総会が4月16日午後、ホテル葛城・はなゆづきにて開催された。

来賓として、三浦 晃松山商工会議所専務理事・石村 浩愛媛県商工会議所青年部連合会会長の同席を得た。

冒頭、伊狩泰介新会長より「発足10周年を迎える青年部としては、会員同士でビジネスづくりに前向きに取り組む、入会して実のある会とすること。そして、業種を越えたバーチャルコーポレーションYEGを築き上げることを、その実現に向けてVCプロジェクトを立ち上げて行きたいと考えます。」と挨拶があった。

その後、伊狩会長が議長となり、平成10年度事業報告及び収支決算報告が諮られ承認された。続いて、平成11年度事業計画(案)が各委員長より説明され、収支予算(案)・役員改選(案)についても、原案のとおり承認可決された。

次にご来賓の三浦専務理事より「VCプロジェクトの実現に向けて、厳しい経済環境下ですが、青年の行動力があれば乗り切れるものと確信いたします。」とご挨拶を頂いた。また、石村青年部連合会会長から暖かい激励のご挨拶を頂いた。

その後、伊狩会長が議長となり、平成10年度事業報告及び収支決算報告が諮られ承認された。続いて、平成11年度事業計画(案)が各委員長より説明され、収支予算(案)・役員改選(案)についても、原案のとおり承認可決された。

以上で通常総会は、閉会した。

4月例会

初めに、伊狩会長より、発足10周年を向える年に会長となり責任感で一杯であること、そして各委員会の役割を再編成し、VCプロジェクトを盛り込んだ委員会活動を中心とした事業内容の充実を図ること、そして一人々自覚をもって行動して頂きたいと所信があった。

次に総務・例会・渉外・交流・PRの各委員長より今年度の委員会活動方針及び内容についての説明があった。

また、「い組」の大西浩司頭より「松山まつり」についての活動方針と積極的な参加への要請及びICと連携し

てスタートする「ザ・まつり」の概要について説明があった。

引き続き10周年事業について、吉川実行委員長より現在までの経過報告、事業内容・決定事項等についての説明、今年度の実施に向けての事業計画について説明があった。

最後に新入会員の入会式、事務局連絡等を行い、4月例会を閉会した。



交流委員会



委員長 河邊 哲也

今年度、交流委員会活動方針としましては、会員同士のコミュニケーションをより活性化し、皆様に“愛”と“幸せ”をお届けしたいと日夜考え、「皆様の為にある交流委員会」と考えています。さてその具体的活動としては、毎年恒例のゴルフコンペ「遊悠杯」をはじめとし、研修旅行さらには、メンバーだけでなくご家族の方々にも出席いただいて互いに交流を深める家族交流会。堅苦しくかきこまったものではなくもっと一步踏み込んで本音を語り合えるアットホームな事業内容を目指し、新入会員の方でも気軽に参加し易い事業内容を計画したいと考えています。その詳細については乞うご期待！さらには、先輩方のマスターズクラブとの交流窓口として色々な貴重なご意見をいただきながら青年部活動へのフィードバックを心掛けていきたいと考えています。勿論、昨年初めて行いましたマスターズクラブとの合同交流事業も今年度、趣向を変えより充実した内容を検討中です。同じく昨年度より始まりましたYEGの課外活動であるクラブ活動は、現在、アウトドア・テニス・パソコン・ワインと4クラブあり、その活動状況の把握も心掛け何かのお役に立ちたいと考えています。なにより会員の皆様様を第一に“愛”と“幸せ”がお届け出来るよう、担当副会長、委員長はじめ交流委員会全員で日夜？努力していきます。……

例会委員会



委員長 大内 健二

例会委員会では、会員企業や会員に役立ち、参加率がアップする例会への変革にチャレンジして行きたいと考えています。

具体的には、今年度青年部全体で取り組むVCプロジェクトの内容を例会に取り込み、例会で会員企業のPRのコーナーや、各委員会の事業内容の周知徹底や報告、会員企業同士の情報交換の場等を盛り込んで参りたいと考えています。また、例会の講演者の選定にあたっては、内容の充実を図ります。会員の要望を把握するために、アンケート調査を実施し、ニーズの高い内容の講演を計画して行きます。

出席率の把握とバッジの着用徹底については、総務委員会と協力して具体的に行いたいと考えます。

夏季親睦会・忘年会や例会後の懇親会については、会員企業の情報交換の場と考えて、活用してもらえよう企画して行きます。

今年一年、例会委員会を充実した活動にしたいと考えていますので、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

総務委員会



委員長 中井 徳明

平成11年度 伊狩会長新体制の下、内容を一新した総務委員会が誕生しました。

- 委員会事業内容は、
- 新入会員募集（会員増強）の具体的な企画、立案、実施
 - 会員の出席率の把握、出欠ルールの徹底及び出席勧奨
 - 新入会員入会時のプレ・ミーティングの実施
 - 会員名簿、会員名刺の見直し、及び作成
 - 今年度より2名となった幹事の役割と幹事会の開催
 - 会員企業の社員の資質、能力向上の為の研修会の開催
- となっております。

特に新入会員増強につきましては、「松山YEG200人体制」を目指して企画、立案しております。

また、新規事業である幹事会の開催では、従来の幹事の役割を払拭し、それぞれの委員会内での核となっただきYEG全体の活性化につなげていきたいと思っております。

もう一つの新規事業である会員企業研修の開催につきましては当YEGの会員の方に講師になっていただき事例をもとにした生きた講演研修の開催を実施して行こうと考えております。

以上の事を重点的に今年一年間、委員会活動として頑張っておりますので会員の皆様様のより一層のご協力をお願い致します。

松山まつり①組



頭 大西 浩司

思い起こせば、4年前、YEG松山まつり運営協議会より「い組」に変わり5回目の松山まつりとなります。

瀬戸内しまなみ海道も5月1日に開通し瀬戸内新時代を告げると共に、「い組」も新しいメンバーにより運営される事となりました。

今年度は、初心に返り、より一層の団結力で感動のある松山まつりにしていきたいと思っております。又、子供たちの間で定着したゲーム村を中心に大人も童心に返り、松山まつりを楽しんでもらえるようにと願っています。

「い組」の通年の方針である県外へ出ていった人々が、松山まつりの日には必ず帰ってくるような、そして地元の人々もこの日を待ち望むような、夢のあるイベントのお手伝い出来るような企画・立案をしていきたいと思っております。

今年もYEGのメンバー及び松山まつり実行委員会の方々には多大なご協力を宜しくお願い申し上げます。



PR委員会



委員長 佐川 正純

私は広報委員会と呼ばれていた時代を含めると今年で5年目のPR委員会となります。5年目にして委員長を命じられ、歴代の委員長のご苦勞がひしひしとわかる今日この頃です。

PRと言う言葉は、英語で「Public Relations」であり、直訳すると「大衆、公衆との関係」と言うこととなります。つまりわれわれ委員会の目的は、一般の人たちとYEGとのよりよい関係を築いていくことでもあります。

そのためには、YEGの組織や活動を広く一般の人々に知っていただく必要があると考えております。今年度も広報誌「遊悠」を中心にパブリックなメディアなども利用してYEGの組織や活動を幅広くPRしていく考えです。特に、あらゆるPR活動において「商工会議所青年部」と言う言葉より「YEG」と言う言葉を優先的に使って当会の組織を認知していただこうと思っております。

また今年度は、YEG10周年記念の年として、これまで10年間のYEG活動の記録を整理し、10周年記念誌の発行をするという大役を担っており、これまで記録の整理を行ってこなかったつけがまわってきております。皆様どうぞご協力のほどよろしくお願いいたします。

渉外委員会

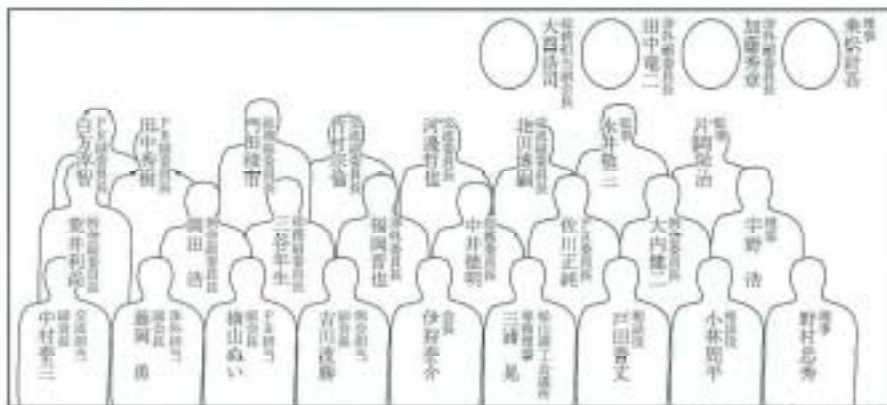


委員長 福岡 晋也

「バーチャンがコップもって、どうした、こうした」…? 「仮想企業体」…? 今年の会長は、また松山まつりで面白いこと考えとんじゃろか?…などと思っていたら、なんとそれは「Virtual Corporation」=「仮想企業体」のことであった。会長の話を聞くとそれは、「YEGを一つの企業と見立て活動や事業を行ってゆく。」というものであるらしい。なんと素晴らしいことだろうか。パチ、パチ、パチ。YEGは経済団体として、あらゆる優秀な…?人材が集まった団体である。業種も違えば、考え方や環境も違うタレントが集まった松山YEGにできないことは無い。「三人寄れば文殊の知恵」というが、まさにその通り。それが結果的にそれぞれの事業に還元されればこんなに良いことはない。などに関心しつつ、渉外委員会の委員長を請け負ったものの、フタを開ければ、「渉外委員会のやること多いんじゃないん!」…フウッフ、とため息をつきつつも請けたものはしょうがない。いまさらグチを言ってもしょうがないと自分に言い聞かせ、納得したつもりの新委員長でございます。幸い委員会のメンバーに恵まれ、VCプロジェクト以下各事業も何とかいい雰囲気が進みそうな予感を感じている今日この頃、「三人寄れば…」どころか「YEGは烏合の衆」と言われぬようにみんなの知恵を出しつつ頑張ろうと思っております。



平成11年4月16日撮影



平成11年4月16日現在

新組閣 決定

通常総会

平成11年度松山商工会議所青年部通常総会が4月16日午後、ホテル葛城・はなゆづきにて開催された。

来賓として、三浦 晃松山商工会議所専務理事、石村 浩愛媛県商工会議所青年部連合会会長の同席を得た。

冒頭、伊藤泰介新会長より「発足10周年を迎える青年部としては、会員同士でビジネスづくりに向向きに取り組み、入会して実のある会とすること。そして、業種を越えたバーチャルコーポレーションYEGを築き上げること。その実現に向けてVCプロジェクトを立ち上げて行きたいと考えます。」と挨拶があった。

次にご来賓の三浦専務理事より「VCプロジェクトの実現に向けて、厳しい経済環境下ですが、青年の行動力があれば乗り越えられるものと確信いたします。」とご挨拶を頂いた。また、石村青年部連合会会長から暖かい激励のご挨拶を頂いた。

その後、伊藤会長が議長となり、平成10年度事業報告及び収支決算報告が踏られ承認された。続いて、平成11年度事業計画(案)が各委員長より説明され、収支予算(案)・役員改選(案)についても、原案のとおり承認可決された。

以上で通常総会は、閉会した。

4月例会

初めに、伊藤会長より、発足10周年を向える年に会長となり責任感で一杯であること、そして各委員会の役割を再編成し、VCプロジェクトを盛り込んだ委員会活動を中心とした事業内容の充実を図ること、そして一人々自覚をもって行動して頂きたいと所信があった。

次に総務・例会・渉外・交流・PRの各委員長より今年度の委員会活動方針及び内容についての説明があった。

また、「新しい組」の大西浩司頭より「松山まつり」についての活動方針と積極的な参加への要請及びICと連携し

てスタートする「ザ・まつり」の概要について説明があった。

引き続き10周年事業について、吉川実行委員長より現在までの経過報告、事業内容・決定事項等についての説明、今年度の実施に向けての事業計画について説明があった。

最後に新入会員の入会式、事務局連絡等を行い、4月例会を閉会した。



新しい時代の情報クリエイティブ企業をめざして



愛媛県松山市湊町7丁目3-5
TEL 089・945・5939

各種出版、グラフィックデザイン、印刷、マーケティング、コミュニケーション戦略、調査

JR四国松山駅からスマッシュで届く距離

ワインデニスクラブ

松山市南江戸1丁目13-33
☎(089) 925-7900

会員・スクール生募集中!!

しあわせな暮らし

「こころ」の品質

株式会社 なかむら

☎0120-145858
イーヨーゴハンゴハン

デジタル情報加工産業を目指す企業です。



株式会社愛媛製版センター

〒790-0022 愛媛県松山市末住町1338番地
TEL.089-975-6603
<http://www.e-press.co.jp/>

axis Digital Production **BUZZ** ON-DEMAND PRINTING **COM21** Highend Prepress **DIXON** Digital XPression Products

GEORGE

GEORGE GROUP

一 番 町 店 ☎(089)949-4012	余 戸 店 ☎(089)973-4495
千 舟 店 ☎(089)947-5039	高 砂 店 ☎(089)922-4486
宮 田 店 ☎(089)934-0375	二 番 町 店 ☎(089)947-2260
松 前 店 ☎(089)984-2787	新 笠 港 通 店 ☎(089)974-2775
F.C. 大 洲 店 ☎(089)924-6228	西 条 通 店 ☎(089)753-1727
古 川 店 ☎(089)905-1689	島 原 店 ☎(089)935-7270
9 0 f i a ☎(089)945-4953	イスタテロンGEORGE ☎(089)984-5534
	D.CORPORATION ☎(089)965-1531

Office 松山市土居田町58-5 ☎(089)915-1801

素敵、エブリテイ



本部/松山市宮西一丁目2番1号
TEL (089) 926-7111

DAIKO DAIKO DAIKO DAIKO DAIKO DAIKO DAIKO DAIKO DAIKO DAIKO

大康建設 株 式 有 限 公 司

松山市松原1丁目9-9

THE SIGN ART PROFESSION

「イメージ」を「カタチ」にします。



有限会社 石川工業

E-mail: i1@mv.biglobe.ne.jp

〒790-0941 松山市丸亀460-26もしもし089-958-8649 FAX958-2959
屋外広告・看板看板・プラスチック加工・ディスプレイ・マルチメディア印刷

手作りの味……おふくろの味……

おむすび お弁当の  サラヤ

レクレーション・各種会・行楽に

白方興業株式会社 TEL 089-922-0111
FAX 089-923-3953
サラヤ 089-925-6333

応援します安心の家づくり - アイフルホーム



● 松山西店 〒791-1104 松山市北土居町564-1 ☎ 089-956-6566

● 松山南店 〒791-0243 松山市平井町2288 ☎ 089-970-2400

「企画提案と問題解決サービス」の実現を目指して
社員一円でCHANGE & CHALLENGE活動を展開中。



CHANGE & CHALLENGE — SAKAWA

佐川印刷株式会社

松山本社 愛媛県松山市関原町6番21号 TEL.(089)925-7471(代) FAX925-7464
吉田本社/宇和島営業所/大洲営業所

MTF

CLEAN SERVICE

エアコンクリーニング
1台7800円 2台目5000円
フローリング抗菌コート 1㎡1000円より
ハウスクリーニング御見積致します。

株式会社エムティーエフ ホームパートナー事業部
TEL089-927-0308 FAX089-927-0272

10周年にむけて

10周年実行委員長 吉川 波勝

平成2年4月4日、愛媛県9番目の商工会議所青年部として設立されたわが単会も平成12年（西暦2000年）をもって満10年の節目を迎えようとしている。青年部はこの10年を節目に、未来に向かって改革と創造にチャレンジして行かねばなりません。

しかし何よりも、会の主人公である一人一人の会員がこの会に所属する事に満足感を覚え、また会で活躍する事が、会員のプラスとメリットをもたらさねばいけないと思います。そして自らの仕事と事業の発展が、そして地域社会の貢献へと結びついて行く事に、経済団体である商工会議所青年部の意義と役割を感じます。

しかし、まだまだ松山市民に青年部の存在が知られておらず10周年を機に、今まで培ってきた組織力、柔軟な企画力、敏捷なる行動力を駆使し、市民を巻き込めるようなイベント開催を行い新世紀へむけての新たな活動の基盤としたいと思います。

さて、10周年を迎えるにあたり平成12年3月4日に松山商工会議所青年部設立10周年記念事業を開催する運びとなり、平成10年度より準備委員会を設立し、各委員会より2名を選出して、毎月1回ミーティングにて進めてまいりました。

開催概要として、①記念式典 ②記念講演 ③懇親会 ④記念誌の発行と決定し、現在は各委員会での内容の検討中であります。記念事業を少しでもよりよくする為にも、会員のご協力が必要となりますのでよろしくお願ひ致します。

遊悠杯ゴルフ大会

交流委員会 黒川 昇



マスターズクラブ、青年部交流事業「遊悠杯ゴルフコンペ」が5月16日北条カントリーにて開催されました。

晴天にも恵まれマスターズクラブ、青年部会員28名が互いに腕を競いました。日頃の練習の成果を

発揮できた方久しぶりでゴルフにならなかった方いろいろ好プレー珍プレー入り乱れる楽しいコンペとなりました。結果海外委員会、高山正志氏がみごとグロススコア88ネットスコア22の好成績で優勝。惜しくも優勝を逃した他のメンバーも各賞なかよく分け合いコンペも無事終了しました。表彰式は場所を「生葉」さんに変更その日一日の結果について談笑し盛り上がりました。マスターズクラブ会員、青年部各会員がゴルフを通じて大変有意義な時間を過ごしたすばらしい一日でした。来年もより一層の親睦が深まる充実したゴルフコンペを企画いたしますので皆様の参加を心よりお待ちしております。

新入会員 & 会員交代

- ①会社名
- ②会社役職
- ③業種
- ④所在地
- ⑤TEL
- ⑥生年月日
- ⑦家族
- ⑧趣味



浅海 幹 (あさみ つよし)



齊藤 雄司 (さいとう ゆうじ)

- 【新入会員】
- ①新幹建設
 - ②専務取締役
 - ③建設・不動産業
 - ④松山市平井町2286
 - ⑤956-6566
 - ⑥昭和37年11月20日
 - ⑦妻・子供3人
 - ⑧ドライブ

- 【新入会員】
- ①船ペーニュー モッズ・ヘア松山
 - ②代表取締役
 - ③美容業
 - ④松山市千寿町4-6-9
 - ⑤933-6111
 - ⑥昭和32年8月4日
 - ⑦妻・子供2人
 - ⑧釣り



大野 哲也 (おおの てつや)



二宮 政樹 (にのみや まさき)

- 【新入会員】
- ①市光和警備保障
 - ②代表取締役
 - ③警備業
 - ④松山市和泉466-1
 - ⑤958-5700
 - ⑥昭和41年1月4日
 - ⑦
 - ⑧

- 【会員交代】
- ①株式会社新聞社
 - ②
 - ③新聞発行業
 - ④松山市大子町1丁目12-1
 - ⑤935-2313
 - ⑥昭和46年9月29日
 - ⑦妻・子供1人
 - ⑧映画鑑賞

事務局だより



松山商工会議所 企画調査部 大野 啓吾

【生年月日】昭和44年8月26日
【趣味】スノーボード・バスフ イフシグ

（おしらせ）

今年度より企画調査部に配属され、青年部の皆さんのお世話をさせていただくことになりました大野啓吾（おおのけいご）です。いろいろとご迷惑をお掛けすると思いますが、どうぞよろしくお願ひ致します。

新入会員強化月間

整備委員会委員長 中井 徳明

今年度、6月～8月の三ヶ月間「会員増強月間」として新入会員獲得運動を推進しております。

「バーチャルコーポレーションYEG」をスローガンに活動を展開している当青年部では共に考え、活動していただける新入会員を募集しております。現在会員数約100人、県都である「松山YEG 200人体制」を目指し今年度は「現会員一名につき新入会員1名紹介」という運動を展開しております。

会員企業の発展、それに伴う地域経済の活性化を基軸に行動していく松山YEGに新しい元気のある仲間をどんどん増やしていきましょう。